

地域密着型サービス 運営推進会議

施設名： えきまえデイサービス夢のむら

施設種類： 地域密着型通所介護

日時： 令和 7 年 11 月 25 日（火） 17 時 00～17 時 30 分

会場： えきまえデイサービス夢のむら談話室

出席者（人数）

利用者代表	2 名	地域代表	2 名
利用者家族	0 名	民生委員	1 名
出雲市職員	1 名	その他	名
高齢者あんしん支援 センター職員	名	夢のむら職員 （代表、管理者、職員）	4 名

1. 議 題

- ① サービスのご利用状況及び活動状況
- ② 事例検討会議録
- ③ 職員研修状況

2. その他

質疑応答

1.①サービスのご利用状況及び活動状況

《要介護度別利用登録人数》 令和 7 年 10 月末時点

事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
2 名	1 名	9 名	20 名	7 名	2 名	3 名	0 名

総利用登録者数： 4 4 名

- ・利用者の平均年齢 8 8 歳（最高年齢 100 歳 最低年齢 7 0 歳）
- ・登録者男女比 男性 2 名 女性 4 2 名
- ・職員体制・・・管理者 1 名 生活相談員 3 名、機能訓練指導員（准 2 正 1） 3 名
介護職員 9 名 、調理員 2 名 （交替にて）

○所持資格…介護職員 9 名のうち（准看護師 1 名、介護福祉士 5 名）

・直近の（お試し・新規利用）状況

R 7 年 5 月・・・1 名曜日追加利用

R 7 年 6 月・・・ 3 名お試し利用後本利用

R 7 年 7 月・・・ 1 名お試しするも見送り

R 7 年 8 月・・・ 3 名曜日追加利用

R 7 年 9 月・・・ 1 名お試しするも見送り

R 7 年 10 月・・・ 2 名曜日追加利用

≪活動状況≫

・行事（R7.5～R7.10までの主な行事や活動）

- 5月 お菓子作り（あんこ、生クリーム、いちごを挟んだどら焼き風）
斐川のバラ公園お出かけ、ふきクッキング、プランター苗植え、種植え
（坊ちゃんかぼちゃ、ミニスイカ、はつか大根、瓜、プチトマト）
- 6月 ラピタ浜山店買い物レク、浜遊菖蒲ドライブ、ホック買い物レク、
プランター野菜収穫
- 7月 七夕願い事書き
- 8月 夏祭り（輪投げ景品つき、※パフェ作り）※カステラ、ヨーグルト、果物
生クリーム
- 9月 地震火災の避難訓練、昼食作り（カレーライス、きゅうりの酢の物、スープ）
敬老の日花飾り作り、だんごクッキング（きな粉、黒みつ）
- 10月 ラピタ浜山店買い物レク、ボランティアさん来所（車田音楽教室の方の歌）
干し柿作り、大社方面ドライブレク

1.②事例検討会議録

【事例1】Oさん 92歳女性（高血圧、眩暈）

眩暈の訴えありデイを休まれる事が多くなる。ご家族からの相談あり、『日中1人で過ごすことが多く、ご飯をしっかりと食べていない様子。1日中部屋を真っ暗にして横になっている。病院に行っても異常はなかった。家だと心配なので入院して点滴してもらいたがどうすれば。』ケアマネと相談してかかりつけ病院での相談をすすめる。紹介状で入院が出来る事となった。数週間で退院されお元気になってデイに現在も元気に通われている。

【事例2】Hさん 100歳女性（リウマチ、腰椎症）

四点杖で歩行されていたが、ふらつきが目立つようになる。ご家族の都合でショート（6日間）を利用された後さらに下肢筋力の低下がみられ、自宅での転倒もありケアマネと相談して、デイの歩行器を試すが歩行器が前に行き過ぎて使用が難しい。再びケアマネと相談、福祉用具の会社から数種類のお試し歩行器を用意、車輪なしの持ち上げながら進むタイプの歩行器が一番安定して歩行できる。

【事例3】Dさん 80歳女性（アルツハイマー型認知症）

食事量が極端に少なくなる。食事の様子をみると指に力が入らず箸を持ちにくそうにしておられる。本人に伺いスプーンにしてみる。またすくい易いようにおかずを深めの皿でワンプレートにしてみると食べやすいとのことだったので継続する。ご飯も残される事が多くなり、おかゆの声掛けをしてみるが好ましくないとの事で一口大のおにぎりにしてみる。全量摂取される事が増えた。

2.③職員研修状況

R7.6（所内研修）虐待防止、身体拘束防止、熱中症対策

R7.8（所内研修）プライバシー保護、食中毒予防

（自主研修）知っておきたい薬の知識（県中）

R7.9（所内研修）実技：麻痺の更衣、ベッド上の洗髪、腰痛体操

R7.10（所内研修）倫理、法令遵守、BCP

2.その他〈質疑応答〉

Q.この半年の間、ヒヤリハットはありましたか？（市役所職員）

A.連絡帳の次回利用日記入欄に間違っただけにちを書きいれてしまい、家族さんから違うのでは？と連絡がはいることがあった。それ以降は職員2人でチェックするようにした。

また、送りの際に自宅へついてから家の鍵がない事に気づき、探すとデイのロッカーの中にカバンごと置き忘れていたことがあった。（鍵はカバンに紐でつけてある）
帰りの際は全てのロッカーを開けて確認するよう徹底した。

Q.介助中のヒヤリハットはありましたか？（地域代表）

A.椅子に座ってもらう時に勢いよくドスンと座ってしまわれることがあり、横で支えてゆっくり安全に座ってもらうよう気を付けるようにしている。

※転倒等は事故報告書扱いになる。市役所への報告義務のボーダーラインが不明瞭

Q.インフルエンザの感染状況は？（地域代表）

A.今の時点では1名の罹患があったが、集団感染などの発生はない。

Q.送迎の際に急にドアを開けて飛び出て危ないことがあったり、施設内で死角になり転倒等危ないことがあったりしますか？また、何人の利用者に対して何人の職員でみておられますか？（民生委員）

A.送迎車の後部座席はチャイルドロックをかけて飛び出しは防ぐようにしている。助手席はチャイルドロックがないので、そういったリスクの少ない方に座って頂くようにしている。施設内で死角になる場所もあるので、午睡の際もリスクの高い方は職員の近くで休んで頂くようにする等工夫している。

18名定員だが、安全面等を考慮して16名程度で受けている。職員は午前4名前後で、午後が3名前後で対応している。

Q.どの曜日も万遍なくうまっていますか？（地域住民）

A.土曜日は利用者が少ないですが、他の曜日は比較的うまっています。

○義理母がこちらの施設に以前お世話になって、その当ても喜んで通っていた。利用日を楽しみにしていたことを思い出す。（民生委員）

○事例検討をみて、職員の方が色々と試してやってみておられ感心しました。向き合って結果が出ていると思う。（地域代表）

○初めて来たときは誰とも話さずに帰ってつまらんだったけど、通ううちにどんどん楽しくなった。今はすっかり慣れた。（利用者）

○一人暮らししていて、まさか自分がデイなんか行くと思わなかったけど、娘が一人で家におってもつまらんから出なさいと言うから出るようになった。出てみると自分が考えているとこと全然違ってとても良かった。今は施設に入ったけど、同じ施設の人もここに来たいとしきりに言われる。（利用者）